

麻生区区民会議 第1回地域交流部会

(議事要旨)

1. 日 時 平成20年10月16日(木)午後2時から午後4時15分まで
2. 場 所 麻生区役所第4会議室
3. 出席者 鴨志田委員、小坊委員、下八川委員、菅原委員、谷川委員、寺川委員、西谷委員、根占委員、守田委員、矢野委員
(事務局)太田区長、荻原企画課長、宮田主査、小柴
4. 傍聴者 2人

1 正副部会長の選出について

企画部会委員の互選により、部会長に「根占委員」、副部会長に「寺川委員」を選出した。

[部会長進行]

2 調査審議課題について

委員から提案があった課題とその課題に関する現状をまとめた資料について事務局から説明を行い、課題解決に向けた具体的なアイデアについて委員で討議を行った。今回の会議では、「文化芸術・地域活性化」について検討がなされ、主な意見は、次のとおり。

- ・市民が芸術祭などにかかわる際に、単に「見るだけ」といった形での参加では、市民不在となってしまいよろしくない・市民参加型でないため

- ・市民参加型を目指すのであれば、芸術に係るイベント等の企画から実行まですべてに関わることが必要である。言い換えると、運営のボランティアと運営企画のいずれにも市民が参加することが望ましい。「しんゆり映画祭」が長年にわたって成功しているのは、このスタイルを採用したからである。

- ・芸術祭にかかる市の予算が少ないと、市民参加の余地が増えてよいのではないかと、まちづくりの観点から文化芸術・地域活性化を検討する必要がある。

- ・文化芸術のまちづくりを進めていくためには、女性をターゲットにする必要がある。女性が参加すれば、必然的に男性も参加することになる。また、文化芸術に興味がない人を引き付ける仕掛けも必要ではないか

- ・文化芸術イベントに興味があっても、子どもが小さいと参加しづらいので、芸術祭には保育ボランティアを準備することが必要。

- ・音楽以外の芸術に触れる機会を作ることが必要であるし、また、新百合から少しはなれたところで芸術に触れる機会を作ることにも必要である。

- ・区民会議としてできることは、芸術活動に携わる人と市民とのネットワークの構築が考えられ、この点の検討が必要である。

3 その他

(1) 川崎市民アンケートについて

アンケート結果の内、区民会議に関係する箇所について、事務局から説明を行った。

(2) あいさつが交し合える地域づくり事業について

第1期区民会議から提案のあった「あいさつが交し合える地域づくり事業」について事務局から説明を行い、都市型コミュニティー活動で成功事例等となるものの情報提供を部会員に依頼した。該当する事例の情報がある場合には、10月23日(木)までに事務局まで連絡をお願いしたい。

(3) 第2回地域交流部会の日程について

11月12日(水)午前10時から行うこととし、開催場所については、後日事務局から連絡することとした。